

# 詩

## 奨励賞

### 夏の色

小松市立高等学校二年

北村 柚稀

すだれがゆれる  
のぞく世界は何色  
広いそらの青  
風できらめく青い草  
元気な子供の小麦色  
好きなあの子の髪の黒  
なつ  
なつは見るものすべてあざやかに

めくるめくような色たちに  
心おどらせ

夏色に染められた世界を  
見ながら僕は夢に沈む

### 会いに来たよ

小松市立高等学校一年

中田 楓

じんわりと汗が出る暑い暑い夏  
あなたはこんな暑い外で  
ずっと待っていてくれるのだろう  
本当は毎日行きたいけど  
泣き顔なんて見せたくないから  
私の話をただ聞いてほしい  
それで私はあなたと会話できたと思える  
ずっと私を見守ってください  
私は毎年この日に来ます  
あなたがねむる此処に。

### 甲子園にのせて

小松市立高等学校一年

寺道奈端菜

熱い地に足を踏みしめる球児  
みんなが一番を目指し  
戦ってきた

負けてしまい泣きくずれた姿  
勝って仲間と喜び合う姿  
その一瞬一瞬が一粒の汗のように  
輝いている

私は応援する側だけど  
一緒に緊張や感動を味わうことができる  
その思い出は球児の投げるボールのように  
一瞬で過ぎていくように感じる  
その思い出を忘れないよう